

かづの微生物農法研究会便り

H26.7.1 No.140 (通算)



美味しい米作りは夏が重要。

エルニーニョの予報は一転、取り消されて暑くなるかも？との気象庁の発表。兎にも角にも、夏は夏らしく、冬は冬らしく、四季の移り変わりがはっきりしていてくれると、美味しいお米作りとしても有難いのですが。田んぼの稲にとって7月から8月の天候や気温は重要で、7月に寒いと穂が不完全になり、8月に寒いと実がつかなくなってしまいます。逆に9月に入ってから暑いままだと、白濁した米粒が多くできてしまい、あまり美味しいお米ではなくなってしまいます。さて、いよいよ夏本番。当地鹿角の夏は、内陸の盆地なので北国にははかり暑くなり、8月19日・20日のお祭り「花輪ばやし」が夏の終わりを告げます。私たちが微生物農法で生産しているあきたこまち「花輪ばやし」の名は、この郷土が誇るべきお祭りの名から取ったものです。一度聴いたら病み付きになる「花輪ばやし」の調べ、是非一度体験してみてください。お祭り「花輪ばやし」は、国の重要無形民俗文化財の指定を今年受けました。国の重文として初の開催となるこの夏の「花輪ばやし」は今まで以上に盛り上がることでしょう。

私たちのお米の商品名としても使わせていただいている「花輪ばやし」は、どこに出しても恥ずかしくない素晴らしいもの、毎回観たく（食べたく）なるもの、多くの人に知ってもらいたいものというお祭りとお米への共通の想いがある名づけたものです。なお7月13日には鹿角地域のアンテナショップが東京都中野区の薬師あいロード商店街に来年2月末までの期間限定でオープンしますから、お祭りもお米も、鹿角地域の他の特産品なども一緒にPRできることを願っています。お近くの方はぜひ一度立ち寄ってみてください。

食べてお得なサービス実施中。

ポイントシールをためて送ると必ずもらえるプレゼント!



お買い上げいただいたお米、2800円毎に一枚ついてくるシールを集めて専用台紙に貼って送ると、お米などをめれなくプレゼント!

生産地から

当地鹿角は北国とはいえ、夏は30℃を越えとても暑くなります。そんな暑い日には、鹿角の中心部にある史跡尾去沢鉱山の観光坑道へ。かつて金銀銅の鉱山として栄えた手掘りトンネルは総延長800km。その中は年中通して13℃！世界でも屈指の硬い岩盤の中はいつもひんやりしていて、観光がてらの避暑には完璧です。ただし、羽織るものを用意しておかないと風邪ひくかも。



7月中旬になると、稲の体の中には稲穂の赤ちゃんが出来始める。人と一緒に、この時期の水管理や天候、気温がとても大事。まだこんなに小さくても、穂の粒の形までしっかりと見て取れる。自然はまさに神秘。



『鹿角の萌えみのり』好評発売中です。白飯としての総合的な美味しさは『花輪ばやし』に譲るものの、チャーハンやカレー用のご飯、また寿司のシャリ用としては抜群の相性です。品種は「萌えみのり」ですが、鹿角の萌えみのりは当地ならではの美味しさ。炊き上がりの光沢も素晴らしく、独特の食感で食べ応えのあるお米です。ご自宅用に、またご贈答用に是非一度お試しください!!

鹿角の萌えみのり



販売開始五周年
ラジオ番組始めちゃいました。

鹿角市のコミュニティFM「鹿角きりたんぼFM」で、鹿角の萌えみのり presents「アニソン店長!」をオンエア中です。声優の茅原実里さんの曲をはじめとして、声優アーティストの曲やアニメ主題歌を紹介しています。

※鹿角きりたんぼFMはパソコン(サイマルラジオ)やスマートフォン(アプリ「FM聴」「listenradio」)でも聴くことができます。

<http://umaikome.jp>

ホームページも是非ご覧下さい。

携帯からも
ご利用できます



初秋に、こんなに美味しい桃が食べられる。



銘産 かつの北限の桃

「北限のもも」は、秋田県鹿角市で栽培されている、本州で最も遅い時期に収穫されるももで、甘味が絶妙にのった品種「川中島白桃」が主力品種です。出荷は9月10日前後となります(収穫前の天候により前後します)。ご希望の方は**安保金太郎商店**までご連絡ください。市場で引っ張りダコの「北限のもも」、ぜひお試しください。

今後ホームページで
予約受付を開始しま
す。お電話でもOK!
一番美味しい時期のと
れたてを発送致します。



園主 平野亮一夫妻

平野りんご園より直送いたします

美味しいお米と特産品のご注文/お問合せ先は...

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字赤川端7-3

有限会社 安保金太郎商店

フリーダイヤル: 0120-08-2028

e-mail kintaro@umaikome.jp

ぜひ一度
かつの
鹿角へ遊びに
来てみて下さい!

有限会社 安保金太郎商店
かつの微生物農法研究会
事務局
文・写真: 安保 大輔
この「微生物農法研究会便り」のバックナンバーや、毎月送送などのご希望がありましたらご一報下さい。感想もお待ちしております。